



SMDに対する リソース指向アーキテクチャ設計法の提案

Group-J4

2008MI160 中根拓也

2009SE026 福田雄介

2009SE093 岩下 翔

目次

- 中間発表まとめ
- 提案アーキテクチャ(構成要素)
- 中間発表の反省
- 今後の課題, 方針

中間発表のまとめ

研究課題

- RESTに基づくアーキテクチャが不明確
- SMDでRESTに基づくWebサービスを開発する上で考慮する必要性

アプローチ

- RESTの単純な構造, RDFの探索が容易な構造に着目

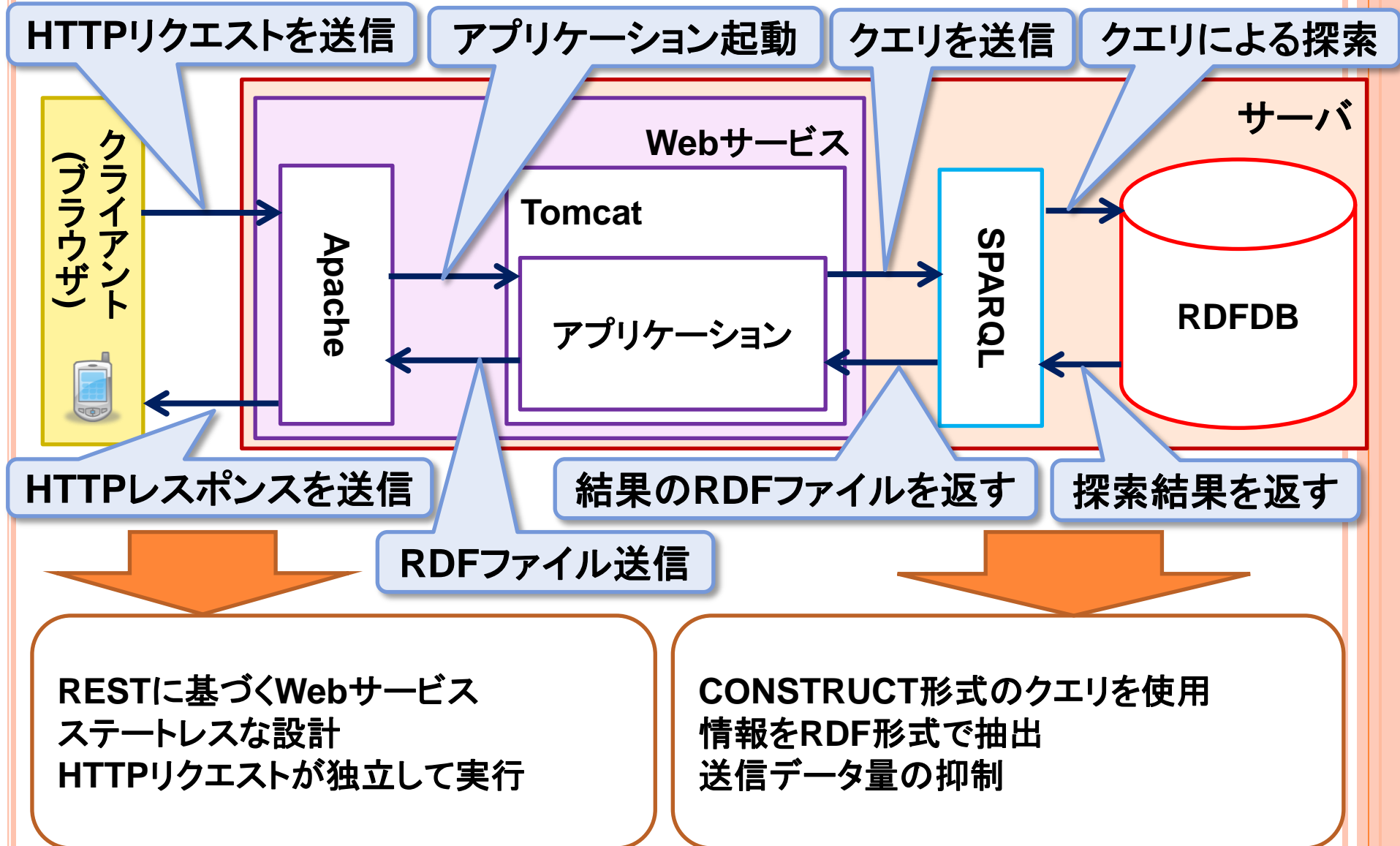
提案アーキテクチャ

- RESTに基づくWebサービスとSPARQLを組み合わせたアーキテクチャを提案

今後の課題

- SPARQLによるRDFの探索方法を具体化
- 提案アーキテクチャの詳細化

提案アーキテクチャ(構成要素)



中間発表の反省点

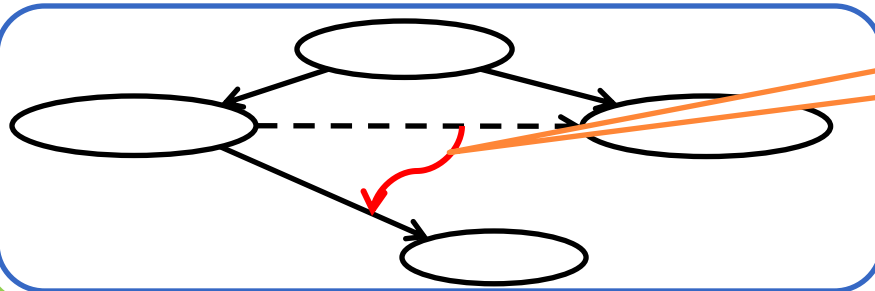
質問1 多数のアクセスがある場合の排他制御について

回答, 反省点

➤実装していく中で, 不特定多数を考慮した排他制御を考える予定

質問2 動的に変化可能なシステムを想定しているか

回答



プログラムの実行時にリソースの関係性の追加, 変更が可能



動的なシステム

質問3 RESTの設計原則の有用性について

反省点

•ステートレス

•HTTPの使用

•URIの使用

•XMLで表現

➤有用性について理解不足.
➤設計原則について, 更に深掘りする必要がある

今後の課題, 方針

データ抽出の詳細化と実装

- ✓ SPARQLを用いたデータ探索とRDFファイル抽出方法の詳細化
 - クライアントの要求に対し, 関連性のあるデータの抽出方法の具体化
 - RDFデータベースが複数ある場合, 探索するデータベースの選択方法を具体化
- ✓ SPARQLによるRDFファイル探索プログラムを実装
 - クライアントが要求する情報と, それに関連する情報の抽出が行えるか確認
 - **不特定多数の同時アクセスの排他制御を考慮**

RESTの設計原則の理解

RESTの設計原則の有用性を吟味

提案方法の妥当性,有用性の確認

- ✓ 実装を行い, 提案方法の妥当性, 有用性を確認
- ✓ 従来のwebサービスと性能を比較し, 検証

**SMDに対する
リソース指向アーキテクチャ設計法の提案**

END

